

鐵 と 鋼 第七年 第四號

大正十年四月二十五日發行

第六回通常總會記事

大正十年三月二十六日(土曜日)午後二時半より本會事務所樓上に於て第六回通常總會を開く、當日出席者は正會員五十一名准會員十二名にして其氏名左の如し。

出席者(出席順)

香村小錄	野呂景義	今泉嘉一郎	倭國一	鹽田泰介
原田鎮治	桂辨三	種子田右八郎	高洲清二	井上禧之助
堀悌三郎	横堀治三郎	寺野精一	加茂正雄	吉川雄輔
江藤捨三	日向庄作	中大路氏道	河村驍	濱田彪
野澤正周	東海勇藏	辻嘉六	廣田理太郎	野長瀬忠男
佐野正三郎	岡本貫一	麻生音波	武藤三枝	渡邊三郎
塚本卯三郎	石原米太郎	佐藤秀松	三島徳七	湊一麿
岡内翠	小川眞治郎	上野景明	杉村伊兵衛	井上克己
大野宗平	河原田稻夫	毛利要次郎	林密	降旗音吉
福井國太郎	木村芳太郎	落合畝三郎	大矢喜兵	梅津七藏
諏訪常次郎				

外に准會員十二名(氏名省略)

1 ○會長香村小錄君開會の辭を述へ(演說速記は別項に掲載せり)次に同氏議長席に着き豫て通告せる

議案に就き報告並に決議をなすこと左の如し。

大正九年度會務報告

(自大正九年三月一日至大正十年二月二十八日)

一 集會

評議員會

五回

理事會

十回

編輯委員會

十一回

明治工業史編輯委員會

一回

講演會

三回

二 會誌の發行

會誌鐵と鋼第六年第三號より第七年第二號迄を毎月一回宛發行せり

三 會員異動

入會者

正會員

六十一名

准會員

九十九名

合計

百六十名

退會者

正會員

七十名

准會員

七十名

合計

百四十名

死亡者 阪田貞一君、和田維四郎君、横山久太郎君、外十名 合計十三名
准會員より正會員に變更者 三十五名

四 會員總數 (大正十年三月十五日調)

正會員	九百二十八名
准會員	六百二十九名
贊助會員	一名
合計	一千五百五十八名

五 製鐵業振興方策に關する意見書の件

大正九年十一月十五日並に同二十七日の兩回に亘り評議員會に於て審議の上製鐵業振興方策に就ての意見書を作製し大正九年十二月四日當局官省並に關係諸方面へ提出せり

右及報告候也

大正十年三月二十六日

日本鐵鋼協會々長 香村 小 錄

大正九年度收支決算報告 (自大正九年三月一日至大正十年二月二十八日)

收入之部

正會員會費	七、六一三、一三〇
准會員會費	三、七七一、五八〇
入會金	二〇六、〇〇〇
廣告料	一、三〇一、〇〇〇

會費補助寄附金

三〇三九、一五〇

利 子

一、六一〇、九四〇

雜 收 入

二一五、五一〇

小 計

一七、七五七、三一〇

前年度繰越金

二〇、八六一、〇八〇

合 計

三八、六一八、三九〇

支出之部

會 合 費

三二二、三〇〇

會 誌 費

一〇、六五六、七四〇

事 務 費

一、七一七、四〇〇

報 酬 及 手 當

三、三四八、〇〇〇

地 代

二、四四六、六〇〇

諸 稅 金

一〇、八〇〇

什 器

六四、〇〇〇

圖 書 費

一六〇、七三〇

修 繕 費

一六三、六八〇

火 災 保 險 料

四四〇、七五〇

合 計

一七、一二九、〇〇〇

差引殘高(次年度繰越)

二一、四八九、三九〇

此 內 譯

銀行預金	二〇、一六三、八五〇
振替貯金	三八八、〇三〇
會誌發行擔保	九〇七、〇〇〇
振替貯金基本	一〇〇、〇〇〇
約束郵便擔保	二〇〇、〇〇〇
現金	五一〇
合計	二一、四八九、三九〇
外に會費未收入	一、五三八、六五〇

以上

右及報告候也

大正十年三月二十六日

日本鐵鋼協會會長 香村 小 錄

財產目錄

一	三二、〇〇〇、〇〇〇
一	二、五〇〇、〇〇〇
一	一、八一八、六三〇
一	三、〇九〇、三一〇
一	二〇、一六三、八五〇

家屋及土藏見積價格	銀行預金
什器見積價格	建物維持資金
圖書見積價格	

21,489,390
 1,538,650

 23,028,040

一 三八八、〇三〇

振替貯金

一 九〇七、〇〇〇

會誌發行擔保

一 一〇、〇〇〇

振替貯金基本

一 二〇、〇〇〇

約束郵便擔保

一 五、一〇〇

現金

合計 六〇、八九八、三三〇

以上

理事及び評議員選舉に關する件は投票人員九十八名の投票を以て凡て評議員會の推薦せる各候補者か選舉せられたり。其氏名左の如し。

理事 (重任)

香村小録君 野呂景義君 今泉嘉一郎君 俵國一君 鹽田泰介君

評議員

井上禧之助君	今村甚一君	服部漸君	堀悌三郎君	大河内正敏君
桂辨三君	種子田右八郎君	中大路氏道君	中島久萬吉君	野田鶴雄君
松下長久君	寺野精一君	三好重道君	島岡亮太郎君	森岡平右衛門君 (以上)
松浦善助君 (以下新任)	堤正義君	磯村豊太郎君	井上匡四郎君	江藤捨三君

右にて總會を終り左の演説ありたり。

製鐵用燃料節約法に就て(次號に掲載す)

工學士三河三村 驍君